

酒田市農業委員会の委員の推薦および応募状況【法人・団体推薦】

| 受付番号 | 推薦を受ける者 |    |    |    |  |   |             | 推薦者（法人・団体）  |       |  |         |       |   |
|------|---------|----|----|----|--|---|-------------|-------------|-------|--|---------|-------|---|
|      | 氏名      | 性別 | 年齢 | 職業 | 経歴   | 農業経営状況  | 認定農業者       | 団体名         | 代表者氏名 | 事業目的   | 構成員数    | 資格    | 推薦理由  |
| 1    | 佐々木 治人  | 男  | 55 | 農業 | ・H元.4～現在<br>・H26.7～R7.12<br>・H30.4～R元.3<br>・R2.12～現在<br>・R3.6～現在     | ・就農<br>・新堀地区農業用無人ヘリコプター組織NEOイーグル会長<br>・新堀地区生産組合長会会長<br>・酒田市農業委員<br>・JA庄内みどり無人ヘリコプター連絡協議会副会長 | 〇<br>〇<br>〇 | 新堀地区農業振興協議会 | 渋谷 佐一 | 地域農業の振興  | 68人     | 代表並役員 | 現在の任期の中でも、地域事情や農地の状況等を熟知して農地の移動に尽力されており、地域にとっては欠くことのできない人である。これからも農業委員として、さらなる活躍をいただきたいことから推薦するものである。   |
| 2    | 石川 渡    | 男  | 52 | 農業 | ・R2.12～現在<br>・R3.3～現在<br>・R3.3～現在<br>・R6.6～R8.6                      | ・酒田市農業委員<br>・平田地区郡鏡保全会本部 会計<br>・平田地区中野目自治会役員<br>・平田地区産業無人ヘリ協議会 会長                           | 〇<br>〇<br>〇 | 平田地区農業振興協議会 | 加藤 和幸 | 平田地区の農業振興に資する活動  | 17人     | 協議会会員 | 現在、酒田市農業委員として農地及び地域農地状況において豊富な知見があり、地域農業者の農地移動等の相談、担い手農業者の指導・牽引役を担っており、今後も活躍を期待します。<br>酒田市農地集積センター平田支店会議の構成員も務め、担い手への農地集積や地域農業の維持発展に寄与し、自らも農地集積に協力しています。<br>「地域計画」地区別協議会（平田地区）の構成メンバーとして、地域の将来にわたる実効性のある計画策定に参画しており、自らも地域内の農業を担う者（目標地図に位置付ける者）とされています。<br>産業用無人ヘリコプター防除に従事され、地域の農地の状況や地理的な状況を把握されていること。<br>地区において防除組織の代表を務め、地域農業者の中心的リーダーとして活躍していること。 |
| 3    | 樋口 準二   | 男  | 64 | 農業 | ・H13.6～H25.6<br>・H22.2～H26.1<br>・H25.6～R4.6<br>・R4.6～現在<br>・R5.12～現在 | ・庄内みどり農業協同組合総代<br>・酒田市認定農業者会議会長<br>・庄内みどり農業協同組合監事<br>・庄内みどり農業協同組合理事<br>・酒田市農業委員             | 〇<br>〇<br>〇 | 庄内みどり農業協同組合 | 田村 久義 | 組合員の農業生産及び生活のために組合員の負担に応え必要な事業を行うことで、その経済状況を改善し、かつ社会的地位の向上を図ることを目的とする。 | 14,390人 | 理事    | 現在、農業に従事するとともに、当農協の理事（非常勤）及び農業法人の代表として幅広く活躍されています。過去には認定農業者会議の会長等を務め、温厚な人柄と揺るぎない責任感で、地域の信頼を集めてこられました。<br>こうした歩みにより培われた農業分野での卓越した知見と実務経験に加え、地域農業の持続的発展に向けた強い情熱をお持ちです。<br>これらの点を総合的に勘案し、同氏を農業委員として強く推薦いたします。  |
| 4    | 兼山 宏勝   | 男  | 56 | 農業 | ・H18.4～現在<br>・R元.1～R4.12<br>・R元.8～現在<br>・R2.12～現在<br>・R3.4～現在        | ・就農<br>・大町溝土地改良区総代<br>・みずほカントリー利用組合副会長<br>・酒田市農業委員<br>・酒田地域保全会副会長                           | 〇<br>〇<br>〇 | 酒田地区農業振興協議会 | 横山 主税 | 地区の農業振興に資する活動  | 96人     | 役員    | 現在も農業委員として農地のマッチングに尽力している。また、地域の農業振興のための課題に対する調整能力も高く、地域農業者からの信望も厚いことから推薦する。  |

| 受付番号 | 推薦を受ける者 |    |    |    |  |   |  | 推薦者（法人・団体） |             |       |  |         |                       |  |
|------|---------|----|----|----|--|---|--|------------|-------------|-------|--|---------|-----------------------|--|
|      | 氏名      | 性別 | 年齢 | 職業 | 経歴   | 農業経営状況  | 認定農業者  | 団体名        | 代表者氏名       | 事業目的  | 構成員数   | 資格      | 推薦理由                  |  |
| 5    | 後藤 寛明   | 男  | 49 | 農業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・H22.4～現在</li> <li>・H30.4～R2.3</li> <li>・H30.6～R2.5</li> <li>・H17.6～R8.2</li> <li>・R8.3～現在</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・南田沢生産組合</li> <li>・平田地区生産組合長協議会 会長</li> <li>・酒田市生産組合協議会 会長</li> <li>・エアーマジック 副会長</li> <li>・エアーマジック 会長</li> </ul>   | 専業・兼業・自家消費<br>自作地 5.91 <sup>ヘクタール</sup> 借地 2.58 <sup>ヘクタール</sup><br>品目：水稲  | ○          | 平田地区農業振興協議会 | 加藤 和幸 | 平田地区の農業振興に資する活動  | 17人     | 地区農業者                 | 酒田市農地集積センター平田支店会議の委員も務め、担い手への農地集積や地域農業の維持発展に寄与し、自らも農地集積に協力しています。<br>「地域計画」地区別協議会（平田地区）の構成メンバーとして、地域の将来にわたる実効性のある計画策定に参画しており、自らも地域内の農業を担う者（目標地図に位置付ける者）とされています。<br>産業用無人ヘリコプター防除に従事され、地域の農地の状況や地理的な状況を把握されていること。<br>地区において防除組織の代表、生産組合長等の役職を兼務し、地域農業者の中心的リーダーとして活躍していること。 |
| 6    | 兵藤 卓弥   | 男  | 52 | 農業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・R4.4～現在</li> <li>・R4.4～現在</li> <li>・R4.3～R6.3</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本楯酒米研究会 会長</li> <li>・日向川土地改良区 総代</li> <li>・本楯地区生産組合 会長</li> </ul>   | 専業・兼業・自家消費<br>自作地 7.0 <sup>ヘクタール</sup> 借地 3.3 <sup>ヘクタール</sup><br>品目：水稲    | ○          | 本楯地区農業振興協議会 | 小野 貴之 | 地域農業生産と農民福祉を高め、豊かな農村社会の建設を図ることを目的とする                       | 279戸    | 協議会役員                 | 兵藤卓弥氏は、年齢相応の人生経験にとどまらず、就農以来、様々な知識の習得、組織の役員を歴任しており、地域農業の発展に積極的に寄与し、公平性、中立的考えを持ち合わせており、十分に推薦に足る人物であると認められる為。   |
| 7    | 佐々木 浩希  | 男  | 64 | 農業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・S61.4～現在</li> <li>・H5.4～H7.3</li> <li>・H6.4～H8.3</li> <li>・H7.4～H9.3</li> <li>・H16.4～H19.3</li> <li>・H16.4～H23.3</li> <li>・H29.4～R5.3</li> <li>・H29.4～R5.3</li> <li>・R元.4～R7.2</li> <li>・R元.4～現在</li> <li>・R2.4～R5.3</li> <li>・R2.9～現在</li> <li>・R5.6～現在</li> <li>・R5.12～現在</li> <li>・R7.3～現在</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・就農</li> <li>・北平田地区生産組合長</li> <li>・(旧)庄内農業共済組合共済部長、損害評価員</li> <li>・JA庄内みどり青年部北平田支部支部長</li> <li>・(新)庄内農業共済組合共済部長、損害評価員</li> <li>・北平田地区生産組合長</li> <li>・農事組合法人ファーム北平田理事</li> <li>・山形県農業共済組合総代</li> <li>・北平田農業青色申告会副会長</li> <li>・北平田特別栽培協議会副会長</li> <li>・山形県農業共済組合評議員会委員</li> <li>・平田第一CE利用組合組合長</li> <li>・山形県農業共済組合理事</li> <li>・酒田市農業委員</li> <li>・北平田農業青色申告会会長</li> </ul> | 専業・兼業・自家消費<br>自作地 0.1 <sup>ヘクタール</sup> 借地 12.5 <sup>ヘクタール</sup><br>品目：水稲   | ○          | 山形県農業共済組合   | 斉藤 徳美 | 農業保険事業   | 54,595人 | 理事                    | 山形県農業共済組合の理事等を歴任する佐々木氏は、農業に関する見識を有し、地域農業のリーダーとして酒田市の農業に貢献できる方であることから推薦するもの。  |
| 8    | 荘司 太郎   | 男  | 75 | 農業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・S45.4～現在</li> <li>・S57.4～H元.3</li> <li>・H元.4～H6.3</li> <li>・H13.4～H17.11</li> <li>・H17.12～現在</li> <li>・R元.4～現在</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・就農</li> <li>・庄内松山農協生産組合長会会長</li> <li>・庄内松山町農協理事</li> <li>・松山町農業委員</li> <li>・酒田市農業委員</li> <li>・内郷地域環境保全会会長</li> </ul>  | 専業・兼業・自家消費<br>自作地 3.0 <sup>ヘクタール</sup> 借地 2.2 <sup>ヘクタール</sup><br>品目：水稲、そば | ○          | 農事組合法人大川渡里夢 | 岩崎 嘉市 | 地区内農地の健全確保を持続しながら、経営の効率化と構成員の相互理解を深め、担い手を確保し安定的な地域農業を確立する。 | 10人     | 地区内に農地を保有し法人の目的に賛同する者 | 生産組合長会会長、農協理事、農業委員等の経験と実績を鑑みて、地域農業のリーダーとして欠くべからざる人物です。<br>農業の大転換期の最中において、地域農業のあるべき姿の実現に向けての活躍を期待して推薦します。   |

| 受付番号 | 推薦を受ける者 |    |    |    |   |   |       | 推薦者(法人・団体)   |       |   |      |                |  |
|------|---------|----|----|----|---|---|-------|--------------|-------|---|------|----------------|--|
|      | 氏名      | 性別 | 年齢 | 職業 | 経歴  | 農業経営状況  | 認定農業者 | 団体名          | 代表者氏名 | 事業目的  | 構成員数 | 資格             | 推薦理由   |
| 9    | 池田 祐樹   | 男  | 47 | 農業 | ・H30.4～現在<br>・R5.7～現在<br>・R6.4～現在<br>・就農<br>・勝保関生産組合長<br>・農地パトロール調査員  | ①専業・兼業・自家消費<br>自作地 3.6 <sup>ヘクタール</sup> 借地 8.0 <sup>ヘクタール</sup><br>品目: 水稲、ネギ、里芋、ナス、生姜、青トウガラシ  | ○     | 中平田地区農業振興協議会 | 尾形 大介 | 地域農業の振興発展に資する活動                             | 156人 | 中平田地区農業者       | 推薦者は、自らが農産物を栽培し、農地の管理もしっかりと行き届いており模範となります。また、農業に関する知識も豊富で「地域農業の必要性」や「地域事情」にも精通しています。地域農業者との関わり合いを大切に、信頼され信望も厚く、集落の生産組合長、農地利用状況調査員を担っており、さらなるご活躍が期待されます。今後の地域農業を支えるため、さらには、発展のため重要な人物であることから農業委員に推薦いたします。 |
|      |         |    |    |    |   |   |       | 中平田自治会連合会    | 田中 泰  | 地区の自治活動に資する活動                               | 15人  | 中平田地区住民        | 現在、池田祐樹氏は、若手として農業振興のみならず若者の中心的役割を担い、地域の自治運営には欠かせない人物であります。今後、将来的にも活躍が期待されるため、ここに推薦いたします。   |
| 10   | 佐藤 利篤   | 男  | 49 | 農業 | ・H29.3～現在<br>・R2.4～現在<br>・R2.12～現在<br>・R3.4～現在<br>・R4.4～現在<br>・就農<br>・石名坂地区生産組合長<br>・酒田市農業委員<br>・松山地区農業振興協議会監事<br>・酒田地区農業士会指導農業士  | ①専業・兼業・自家消費<br>自作地 5.8 <sup>ヘクタール</sup> 借地 12.9 <sup>ヘクタール</sup><br>品目: 水稲、そば、庄内柿             | ○     | 農事組合法人里美コスモス | 荘司 正弘 | 農地の健全保。並びに構成員の相互理解と情報交換をしながら経営効率化を図り担い手に繋ぐ。 | 11人  | 地区内に農地を保有している者 | 若い農業者が少ない中で、地域の農業組織の活動において、中心的立場でかंबっています。2期の農業委員の経験を基本に、益々の地域農業へ貢献する活動に期待して、地域全体で推薦します。   |
| 11   | 富樫 悟    | 男  | 57 | 農業 | ・S62.4～R4.3<br>・H16.3<br>・H22.4～H24.3<br>・H25.4～H26.3<br>・R2.4～現在<br>・R4.4～現在<br>・R5.5～現在<br>・R6.4～現在<br>・R8.2～現在<br>・R8.4～現在<br>・庄内農業共済組合入組<br>・JA青年の主張全国大会出場<br>・北平田小学校PTA会長<br>・北平田保育園保護者会長<br>・漆曾根1区生産組合長<br>・漆曾根1区NOSAI部長<br>・北平田コミセン理事(地域計画推進委員長)<br>・庄内みどり農協総代<br>・ファーム北平田理事(副代表)<br>・山形県指導農業士 | ①専業・兼業・自家消費<br>自作地3.33 <sup>ヘクタール</sup> 借地10.32 <sup>ヘクタール</sup><br>品目: 水稲、秋冬ネギ、シャインマスカット、オクラ | ○     | 北平田地区農業振興協議会 | 樋口 準二 | 地区の農業振興に資する活動                               | 150人 | 北平田地区農業者       | 地域農業や農家情報に精通しており、担い手への農地集積や耕作放棄地の未然防止に貢献している。また、農組合法人ファーム北平田の副組合長として地域の農業振興に積極的に取り組んでいる。   |
|      |         |    |    |    |   |   |       | 北平田自治会長会     | 齋藤 誠  | 地域の自治振興に資する活動                               | 14人  | 北平田地区住民        | 北平田地区の地域計画に役員として積極的に参加され策定に貢献した。農業者として地域では中心的な存在で地域農業の発展に寄与している。   |
| 12   | 小野寺 奈津子 | 女  | 45 | 農業 | ・R4.4～現在<br>・就農   | ①専業・兼業・自家消費<br>自作地 2.1 <sup>ヘクタール</sup> 借地 - <sup>ヘクタール</sup><br>品目: 果樹(梨)、水稲                 |       | 本楯地区農業振興協議会  | 小野 貴之 | 地域農業生産と農民福祉を高め、豊かな農村社会の建設を図ることを目的とする        | 279戸 | 地区農業者          | ご主人、ご両親と共に稲作のほか刈屋梨の栽培に取り組んでいます。地域農業に強い熱意を持ち、家族と協力しながら農業経営に積極的に関わっており、本地区の農業発展に貢献できる人物です。加えて、地元の課題に対する理解が深く、地域の声を反映した活動が期待されます。そのため酒田市農業委員としてふさわしい方と確信しております。   |

| 受付番号 | 推薦を受ける者 |    |    |    |   |  |   | 推薦者（法人・団体） |              |       |  |      |          |  |
|------|---------|----|----|----|---|--|---|------------|--------------|-------|--|------|----------|--|
|      | 氏名      | 性別 | 年齢 | 職業 | 経歴  | 農業経営状況   | 認定農業者   | 団体名        | 代表者氏名        | 事業目的  | 構成員数   | 資格   | 推薦理由     |  |
| 13   | 土田 治夫   | 男  | 65 | 農業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・S56.4～現在</li> <li>・H15.7～H17.11</li> <li>・H23.12～現在</li> <li>・H27.4～R8.3</li> <li>・R3.6～R7.5</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・就農</li> <li>・旧平田町農業委員</li> <li>・酒田市農業委員</li> <li>・山形県指導農業士</li> <li>・JA庄内みどり本部園芸部会長</li> </ul>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>⓪ 専業</li> <li>・兼業</li> <li>・自家消費</li> </ul> 自作地 0 <sup>㊦</sup> 借地 0 <sup>㊦</sup><br>品目：水稲、飼料米、ニンニク、大豆<br>※法人への貸主のため、経営面積0 <sup>㊦</sup> |            | 平田地区農業振興協議会  | 加藤 和幸 | 平田地区の農業振興に資する活動  | 17人  | 協議会会員    | 現在、酒田市農業委員として農地及び地域農地状況において豊富な知見があり、地域農業者の農地移動等の相談、担い手農業者の指導・牽引役を担っており、今後も活躍を期待します。<br>酒田市農地集積センター平田支店会議の構成員も務め、担い手への農地集積や地域農業の維持発展に寄与し、自らも農地集積に協力しています。<br>「地域計画」地区別協議会（平田地区）の構成メンバーとして、地域の将来にわたる実効性のある計画策定に参画しており、自らも地域内の農業を担う者（目標地図に位置付ける者）とされています。 |
| 14   | 遠田 裕己   | 男  | 46 | 農業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・H29.4～現在</li> <li>・R4.4～R7.3</li> <li>・R4.4～R7.3</li> <li>・R5.5～R7.4</li> <li>・R2.12～現在</li> </ul>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・就農</li> <li>・大沢第3生産組合長</li> <li>・八幡型特別栽培米部会会長</li> <li>・八幡無人ヘリ防除組合長</li> <li>・酒田市農業委員</li> </ul>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>⓪ 専業</li> <li>・兼業</li> <li>・自家消費</li> </ul> 自作地 3 <sup>㊦</sup> 借地 14 <sup>㊦</sup><br>品目：水稲   | ○          | 八幡地域農業振興協議会  | 御船 浩弥 | 八幡地区住民の総意と英知を集結し、地域特性の活かした地域農業の振興発展を図り、農山村の景観・環境を維持発展させて、明るく住み良い八幡地域を築くため、総合的な調整を図り実施事業の一体的な推進を図る。 | 16人  | 協議会役員    | 八幡地域の平坦から中山間部（大沢地区）に精通しており、また若手の担い手として中心的な存在として活躍し、農業振興にご尽力されている方であり、今後も地域の農業振興、発展のためにも農業委員として推薦します。   |
| 15   | 池田 徹    | 男  | 62 | 農業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・S59.4～S63.3</li> <li>・R元.4～現在</li> <li>・R4.4～現在</li> <li>・R6.5～現在</li> </ul>                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市条二区生産組合長</li> <li>・JA庄内みどり 総代</li> <li>・八幡地区認定農業者会 会長</li> <li>・日向川土地改良区 総代</li> </ul>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>⓪ 専業</li> <li>・兼業</li> <li>・自家消費</li> </ul> 自作地 2.4 <sup>㊦</sup> 借地 0.0 <sup>㊦</sup><br>品目：水稲、梨  | ○          | 八幡地域農業振興協議会  | 御船 浩弥 | 八幡地区住民の総意と英知を集結し、地域特性の活かした地域農業の振興発展を図り、農山村の景観・環境を維持発展させて、明るく住み良い八幡地域を築くため、総合的な調整を図り実施事業の一体的な推進を図る。 | 16人  | 協議会役員    | 八幡地域の平坦から中山間部（観音寺地区・一条地区）に精通しており、また若手の担い手として中心的な存在として活躍し、農業振興にご尽力されている方であり、今後も地域の農業振興、発展のためにも農業委員として推薦します。   |
| 16   | 齋藤 均    | 男  | 62 | 農業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・H元.4～現在</li> <li>・H13.4～現在</li> <li>・H24.4～現在</li> <li>・H25.4～現在</li> <li>・R7.4～現在</li> </ul>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・就農</li> <li>・酒田市農業委員</li> <li>・中平田地区農振協議会副会長</li> <li>・庄内みどり農協酪農部会長</li> <li>・中平田特栽米研究会会長</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>⓪ 専業</li> <li>・兼業</li> <li>・自家消費</li> </ul> 自作地1.2 <sup>㊦</sup> 借地3.8 <sup>㊦</sup><br>品目：水稲、乳牛30頭                                      | ○          | 中平田地区農業振興協議会 | 尾形 大介 | 地域農業の振興に資する活動  | 156人 | 中平田地区農業者 | 現在、農業委員として24年もの長い期間、地域の農地利用の最適化の推進に尽力しており、また令和5～8年の3ヶ年は農業委員会会長として職務を遂行してきました。この他にも、地区農業振興協議会の副会長、中平田特栽米研究会会長、庄内酪農協議会会長、JA庄内みどり酪農部会会長としてもご活躍されております。今後も地域農業の発展のため取り組んで頂ける方であることから農業委員に推薦いたします。  |
|      |         |    |    |    |   |  |   |            | 中平田自治会連合会    | 田中 泰  | 地区の自治活動に資する活動  | 15人  | 中平田地区住民  | 現在、齋藤均氏は、勤続25年以上のベテラン農業委員として、地区の農地行政、農業振興に欠かせない人物であります。引き続き業務にあたっていただきたく、ここに推薦いたします。   |

| 受付番号 | 推薦を受ける者 |    |    |    |  |  |       | 推薦者（法人・団体）     |       |  |      |        |  |
|------|---------|----|----|----|--|--|-------|----------------|-------|--|------|--------|--|
|      | 氏名      | 性別 | 年齢 | 職業 | 経歴   | 農業経営状況   | 認定農業者 | 団体名            | 代表者氏名 | 事業目的   | 構成員数 | 資格     | 推薦理由   |
| 17   | 吉高 祐二郎  | 男  | 51 | 農業 | ・H27.4～現在<br>・H28.4～H30.3<br>・R2.12～現在<br>・R3.4～R8.3<br>・R4.4～R5.4 | ・草津中山間地集落協定代表<br>・日向地区生産組合長<br>・酒田市農業委員<br>・下黒川地区生産組合長<br>・八幡無人ヘリ防除組合長 | ○     | 八幡地域農業振興協議会    | 御船 浩弥 | 八幡地区住民の総意と英知を結集し、地域特性を活かした地域農業の振興発展を図り、農山村の景観・環境を維持発展させて、明るく住み良い八幡地域を築くため、総合的な調整を図り実施事業の一体的な推進を図る。 | 16人  | 協議会役員  | 八幡地域の平坦から中山間部(日向地区)に精通しており、また若手の担い手として中心的な存在として活躍し、農業振興にご尽力されている方であり、今後も地域の農業振興、発展のためにも農業委員として推薦します。   |
| 18   | 五十嵐 弘樹  | 男  | 58 | 農業 | ・H17.12～現在<br>・H18.4～現在<br>・H20.6～R2.6<br>・R2.2～現在                 | ・酒田市農業委員<br>・黒森地区農業振興協議会会長<br>・JAそでうら理事<br>・JAそでうらアスパラ部会長              | ○     | 酒田市袖浦地区農業振興協議会 | 佐藤 久則 | 袖浦地域の農業及び農村社会の振興と振興施策の策定・推進  | 650人 | 地域農業者  | 酒田市農業委員をはじめJAそでうら青年部委員長、JAそでうらアスパラガス部会副部長、JAそでうら理事を歴任し、現在はアスパラガス部会会長を務めるなど、地域農業にかかわる組織において経験と実績があり、その指導力は高く評価されている。アスパラガスの生産については部会活動の中心役割を担い、産地を確立するとともに、新規就農者の定着のために技術指導や仲間づくりを行い、良き相談相手となっておりその人望は厚い。離農によって遊休化した農地・施設の賃貸・売買を積極的に進めるほか、農地をめぐる様々な相談・クレームを解決してきた功績により他に代えられない存在となっている。<br>以上、氏の見識と指導力、地域への貢献度は農業委員としてふさわしいものである。 |
|      |         |    |    |    |  |  |       | 黒森コミュニティ振興会    | 五十嵐 武 | 住民相互の連携と、元気に安心して暮らせる地域づくり  | 333戸 | 黒森地区住民 | 五十嵐弘樹氏は、長年にわたり地域農業の発展に尽力し地域の農地利用の最適化や遊休農地の解消など積極的に取り組み熱意をもっており、その誠実な人柄と経験は地域発展に大きく、推薦いたします。  |
| 19   | 池田 幸樹   | 男  | 56 | 農業 | ・R6.4～現在   | ・鳥海地区認定農業者会会長  | ○     | 鳥海地区農業振興協議会    | 丸山 康広 | 地域農業の振興に資する活動  | 84人  | 役員     | 当地区においては、農業者の高齢化が進み、離農する農業者が増えており、農業の継続、農地移動の斡旋等、各種の相談が増加しています。その中で、池田幸樹さんは、認定農業者の会の代表や地区大豆組合のオペレーターとして、地区農業団体のリーダーとして活躍し、地域農業の振興に努めています。地域での活躍は、酒田市での農業振興に寄与できるものと考えています。これまでの経験を活かし、引き続き地域農業の振興に尽くして頂きたく、推薦いたします。  |
| 20   | 阿部 香美   | 女  | 49 | 農業 | ・H15.7～現在<br>・R2.12～現在   | ・株式会社はなはな入社<br>・酒田市農業委員  | ○     | 株式会社はなはな       | 阿部 浩之 | 花と野菜の販売を通して農業経営の発展と社会貢献を目指す  | 6人   | 社員     | 女性農業者の視点から地域の農業の問題点を解決してほしいと思います。女性が子育てしながら農業を続けられる環境作りなど。   |

| 受付番号 | 推薦を受ける者 |    |    |     |  |   |       | 推薦者（法人・団体）        |       |                            |        |                                  |   |
|------|---------|----|----|-----|--|---|-------|-------------------|-------|----------------------------|--------|----------------------------------|---|
|      | 氏名      | 性別 | 年齢 | 職業  | 経歴   | 農業経営状況  | 認定農業者 | 団体名               | 代表者氏名 | 事業目的                       | 構成員数   | 資格                               | 推薦理由  |
| 21   | 佐藤 良    | 男  | 52 | 農業  | ・H21.2～H25.1 飯森山生産組合長<br>・H21.2～H25.1 袖浦生産組合長会会計<br>・H21.2～H25.1 袖浦無人ヘリ利用組合副組合長<br>・H23.4～H25.3 JAそでうら青年部委員長<br>・H26.6～現在 JAそでうら理事<br>・H29.12～現在 酒田市農業委員 | 専業・兼業・自家消費<br>自作地 1.1㊦ 借地 12.2㊦<br>品目：水稲、メロン、キュウリ             | ○     | 袖浦土地改良区           | 高橋 淳  | 農業生産基盤の整備及び開発、農業生産拡大と生産性向上 | 453人   | 農地の所有者及び耕作者                      | 水稲12haなど規模の大きい複合農業を営む地域を代表する若手篤農家です。青年部委員長、農協理事を務めるなど地域農業において高いリーダーシップを発揮しています。<br>また、宮野浦地域の水田利用においては農地の遊休化を防止すべく耕作者の調整決定の中心を担い、引き受けていない水田については自らも多く引き受けています。<br>遊休農地解消等を目的とした袖浦北地区の基盤整備の取り組みでは土地改良区役員とともに実質的リーダーを担っています。<br>以上、農業委員としてふさわしいものであり、推薦いたします。                                  |
|      |         |    |    |     |  |   |       | 酒田市袖浦農業協同組合       | 佐藤 久則 | 地域農業の振興と組合員の事業と生活の向上       | 1,545人 | 理事                               | 規模の大きい複合農業を営み、地域を代表する農業経営者となっている。また、無人ヘリ副組合長、生産組合長、青年部委員長、農協理事を務めるなど地域農業の各組織における経験と実績があり、その指導力は高く評価されている。<br>また、新規就農者の定着のために技術指導や仲間づくりを行い、良き相談相手となっており、その人望は厚い。<br>宮野浦・飯森山地区の水田利用においては、出し手と借り手のマッチングなどの中心的役割を担っており、さらには自ら耕作放棄地の発生防止や管理耕起などを行っている。<br>以上、氏の見識と指導力、地域への貢献度は農業委員としてふさわしいものである。 |
| 22   | 高橋 公基   | 男  | 53 | 農業  | ・H25.4～H28.4 浜中生産組合長<br>・H28.4～R8.3 浜中生産組合監事<br>・R2.12～現在 酒田市農業委員  | 専業・兼業・自家消費<br>自作地 ㊦ 借地 ㊦<br>品目：アスパラ、ミニトマト<br>※兄が経営主のため、経営面積0㊦ |       | 浜中地区農業振興協議会       | 菅原 功  | 地区の農業振興に資する活動              | 100人   | 協議会役員                            | 浜中地区での事業や地域行事の中心となって活動していただいています。農業委員の活動も公基さんで浸透しています。質問や意見に対する対応も早く評判も上々です。3期目も任せるにふさわしい人物です。  |
| 23   | 川村 恵実   | 女  | 54 | 自営業 | ・H27.4～H30.3 浜中小学校学校評議委員<br>・H27.3～現在 酒田地区少年補導員<br>・R2.12～現在 酒田市農業委員   | 専業・兼業・自家消費<br>自作地 — 借地 —<br>品目：—                              |       | 浜中担い手女性の会Hapiguri | 高橋 身依 | 地域の活性化、つながりの強化を目的に活動しています。 | 18人    | 女性であり、浜中に関わりのあるJA庄内みどりの組合員及びその家族 | 現在も農業委員として活動する中で農地などの困りごとに正面から向き合う姿勢や、地域の行事にも積極的に参加して相談しやすい環境を整えきめ細やかにサポートする行動力に浜中の女性からも信頼も厚く、頼りになる川村恵実さんを農業委員に推薦いたします。   |

| 受付番号 | 推薦を受ける者 |    |    |    |  |  |       | 推薦者（法人・団体）    |       |   |        |        |   |
|------|---------|----|----|----|--|--|-------|---------------|-------|---|--------|--------|---|
|      | 氏名      | 性別 | 年齢 | 職業 | 経歴   | 農業経営状況   | 認定農業者 | 団体名           | 代表者氏名 | 事業目的  | 構成員数   | 資格     | 推薦理由  |
| 24   | 伊與田 明子  | 女  | 52 | 農業 | ・H17.4～現在<br>・H24.4～H30.3<br>・H29.12～現在<br>・R2.4～現在<br>・R8.4～現在<br>・就農<br>・すくすくあぐりネット代表（現在も加入中）<br>・酒田市農業委員<br>・JA庄内みどり総代<br>・みどりの里山居館組合長  | （ <u>専業</u> ）・兼業・自家消費<br>自作地 5.0㍏ 借地 0.3㍏<br>品目： 水稲、野菜                               |       | 北部農業振興協議会     | 佐藤 公紀 | 適切なる農政対策を実施して地域農業の振興発展を図ることを目的とする。  | 129人   | 協議会役員  | 今年度も当協議会の委員として、農業委員会からの情報提供や農地のマッチング作業、地域計画の見直しや、担い手への農地集積集約及び耕作放棄地の発生防止に適切な助言を頂いております。<br>今後も酒田市の農業や当地の地域農業の振興発展、当協議会の目的達成のため、今まで以上に尽力していただける事を期待し、農振の代表として農業委員に推薦いたします。           |
| 25   | 伊藤 正行   | 男  | 60 | 農業 | ・H31.2～現在<br>・R2.12～現在<br>・R6.4～現在<br>・R6.7～現在<br>・R7.8～現在<br>・西荒瀬農業青色申告協議会副会長<br>・酒田市農業委員<br>・西荒瀬環境を守る会会長<br>・日向川土地改良区理事<br>・西荒瀬CE利用組合組合長   | （ <u>専業</u> ）・兼業・自家消費<br>自作地 3.7㍏ 借地 3.7㍏<br>品目： 水稲、野菜                               | ○     | 西荒瀬地区農業振興協議会  | 岡部 亀義 | 適切なる農政対策を実施して地域農業の振興発展を図ることを目的とする。  | 290人   | 協議会役員  | 西荒瀬カントリー利用組合長でもあり、今年度も当協議会の委員として地域農業に尽力している。農業委員会からの情報提供や、農地のマッチング作業、地域計画の見直しや、担い手への農地集積集約及び耕作放棄地の発生防止に適切な助言を頂いております。<br>西荒瀬地区の各組織役員であり農業政策について高い見識を持つことから、西荒瀬農振の代表として農業委員に推薦いたします。 |
| 26   | 名波 登帝   | 男  | 34 | 農業 | ・R2.1～現在<br>・R2.4～現在<br>・R3.5～現在<br>・R5.2～現在<br>・R6.4～現在<br>・酒田市に移住、株式会社鳥海高原デリーファームを設立し、会社運営に従事<br>・大台野地区遊休農地の取得による集約化と農地改良、遊休畑地の賃貸借による農地集積を推進<br>・農地耕作条件改善事業を活用した大台野地区遊休地の農地改良事業を実施<br>・鳥海高原DF飼料生産組合発足に関与、役員就任<br>・株式会社鳥海デリーファーム取締役就任 | 専業・兼業（ <u>自家消費</u> ）<br>自作地 40.8㍏ 借地 23.0㍏<br>品目： 飼料作物（デントコーン、ソルガム、牧草）<br>※自社（酪農場）消費 | ※法人役員 | 鳥海高原DF飼料生産組合  | 阿曾 右貢 | 畜産農家と耕種農家とが地域資源の有効活用を図り、耕畜連携型農業を確立するため、飼料生産及び有機肥料の圃場還元等の事業を通じ、地域農業の収益力向上に資する「持続可能な農業」を実現する。 | 6団体    | 組合役員   | 別紙のとおり  |
| 27   | 齋藤 元生   | 男  | 57 | 農業 | ・H4.3～現在<br>・H14.3～H18.3<br>・H28.4～現在<br>・R7.4～現在<br>・就農<br>・小牧生産組合長<br>・中平田地区庄内みどり農協総代長<br>・大町溝土地改良区理事  | （ <u>専業</u> ）・兼業・自家消費<br>自作地2.3㍏ 借地32.7㍏<br>品目： 水稲                                   | ※法人役員 | 大町溝土地改良区      | 小野寺 耕 | 農業用施設の維持管理及び農業基盤の整備   | 1,010人 | 農業の耕作者 | 小牧集落で、若いときから水稲を中心とした専業農家として永年従事してきた。地域の中核として信頼され、自ら農地の集約に取り組み地区内の農地を守り、集落の農業用施設の管理も機械化し良好な管理を行っている。今までの経験を活かし近隣土地改良区の代表として、農地利用の最適化など土地改良区理事として高い見識で取り組んで貰えると判断し推薦いたします。            |
| 28   | 田村 晴久   | 男  | 68 | 農業 | ・S56.4～現在<br>・H30.6～現在<br>・R1.6～現在<br>・R2.6～現在<br>・R5.12～現在<br>・R7.4～現在<br>・就農<br>・広野地区農振協議会副会長<br>・広野地区青申協議会副会長<br>・庄内みどり農協広野地区総代長<br>・酒田市農業委員<br>・広野地区保全会会長  | （ <u>専業</u> ）・兼業・自家消費<br>自作地 3.5㍏ 借地 20.5㍏<br>品目： 水稲、大豆、WCS（飼料用稲）                    | ○     | 広野地区農業振興推進協議会 | 齋藤 裕治 | 地区の農業振興に資する活動   | 61人    | 協議会代議員 | 田村氏は、現在、地区保全会会長、青申会、農振協、JA総代長の役職を務められ、地区農家からの信頼も厚く、農業委員としての活躍を通して地域農業をリードしていける人と確信し推薦致します。  |

| 受付番号 | 推薦を受ける者 |    |    |    |   |  |   | 推薦者（法人・団体） |              |       |                                |      |          |  |
|------|---------|----|----|----|---|--|---|------------|--------------|-------|--------------------------------|------|----------|--|
|      | 氏名      | 性別 | 年齢 | 職業 | 経歴  | 農業経営状況   | 認定農業者   | 団体名        | 代表者氏名        | 事業目的  | 構成員数                           | 資格   | 推薦理由     |  |
| 29   | 佐藤 秀之   | 男  | 68 | 農業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・H3.4～現在</li> <li>・R2.4～現在</li> <li>・R2.4～現在</li> <li>・R2.12～現在</li> <li>・R3.7～現在</li> </ul>                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・就農</li> <li>・東平田地区環境保全会副会長</li> <li>・東平田青申会会長</li> <li>・酒田市農業委員</li> <li>・東平田地区農業振興協議会副会長</li> </ul>   | <b>専業</b> ・兼業・自家消費<br>自作地 2.4 <sup>ヘクタール</sup> 借地 10.4 <sup>ヘクタール</sup><br>品目：水稲、大豆、飼料用<br>シヤインマスカット        | ○          | 東平田地区農業振興協議会 | 田村 久義 | 地域農業の振興<br>発展に資する活動            | 128人 | 東平田地区農業者 | 現在農業委員を2期勤めており地域農地利用の最適化推進に尽力し、経験を積み重ね多くの実績を残しております。また、地区農業振興協議会の副会長、青色申告協議会の地区会長としても活躍されております。今後も引き続き地域農業の発展のため取り組んでいただける方だと考え、農業委員に推薦いたします。  |
| 30   | 菅原 伸一   | 男  | 57 | 農業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・H15.4～現在</li> <li>・H28.10～現在</li> <li>・R2.4～R3.3</li> <li>・R2.6～R3.5</li> <li>・R4.9～現在</li> <li>・R8.4～現在</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・就農</li> <li>・農事組合法人つる舞代表理事</li> <li>・上田地区生産組合会長</li> <li>・JA庄内みどり無人ヘリオベ連絡協議会会長</li> <li>・上田CE利用組合組合長</li> <li>・上田地区生産組合会長</li> </ul>                                   | <b>専業</b> ・兼業・自家消費<br>自作地 2.8 <sup>ヘクタール</sup> 借地 7.3 <sup>ヘクタール</sup><br>品目：水稲、大豆、ネギ                       |            | 上田農業振興推進協議会  | 佐藤 浩良 | 地域農業の振興<br>発展を促進し、住みよい農村環境を築く。 | 119人 | 協議会役員    | 上田カントリー利用組合長で農事組合法人の代表でもあり、ヘリ防除の代表も経験し地域農業に尽力している。農業組織代表の経験から上田地域の農地と農地を知り尽くしていることから農地のマッチング作業、地域計画の見直しや担い手への農地集積集約及び耕作放棄地の発生防止に活躍していただける人材です。現在、上田カントリー利用組合長と農事組合法人の代表であり農業政策について高い見識を持つことから、上田農振の代表として農豪委員に推薦する。 |
| 31   | 佐藤 晴子   | 女  | 49 | 農業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・H5.4～H8.3</li> <li>・H8.4～H11.3</li> <li>・H30～R7.3</li> <li>・R1～現在</li> <li>・R5.12～現在</li> </ul>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・財団法人KEEP協会(ホテル業、農場、販売業など)</li> <li>・財団法人KEEP協会(環境教育事業部)</li> <li>・山県県アグリウーマン塾受講</li> <li>やまがた農業女子ネットワーク(あぐっと)加入</li> <li>・酒田市すくすくあぐりネット加入</li> <li>・酒田市農業委員</li> </ul> | <b>専業</b> ・兼業・自家消費<br>自作地 <sup>ヘクタール</sup> 借地 <sup>ヘクタール</sup><br>品目：水稲<br>※経営主が夫のため、経営面積0 <sup>ヘクタール</sup> |            | 平田地区農業振興協議会  | 加藤 和幸 | 平田地区の農業<br>振興に資する活動            | 17人  | 協議会会員    | 現在、酒田市農業委員として農地及び地域農地状況において豊富な知見があり、地域農業者の農地移動等の相談、担い手農業者の指導・牽引役を担っており、今後も活躍を期待します。「地域計画」地区別協議会(平田地区)の構成メンバーとして、地域の将来にわたる実効性のある計画策定に参画しています。   |

## 【別紙】 26番 名波登帝

ノベルズグループは、北海道十勝を拠点に肉牛事業・酪農事業を大規模に展開するグループ企業で、北海道内で肥育、育成、酪農の10牧場、山形県でも同様に3牧場を経営し、約3.3万頭の肉用牛や乳用牛を飼養しており、国内最大級の“ギガファーム”を運営する高度なノウハウを培っています。

ノベルズグループは、令和元年に山形県酒田市への進出を開始し、鳥海山麓、大台野地区において市が運営してきた旧鳥海高原牧場の財産をもとに、肥育、育成、酪農を一貫して行う、株式会社鳥海高原デーリィファーム、株式会社酒田DF育成牧場を設立しました。

名波氏は、酒田市への会社設立当初から酒田市に移住、常駐し、会社の設立、農地の取得、施設整備など、すべての設立行為に主導的な役割を果たしてきました。

農地の取得に関しては、戦後の入植で開墾され、荒廃が進んでいた大台野地区の畑約41ヘクタールについて、中間管理機構を通じた取得を進め、農地の大規模な集約化を達成しました。農地取得後には、国の補助事業である耕作条件改善事業を導入することにより、荒廃農地を優良農地に生まれ変わらせました。

また、飼料作物の生産に関しては、国営事業で整備された、八幡地区の重倉団地、泥沢団地、平田地区の山楯団地の畑で賃貸借契約を結び、賃借地におけるデントコーンやソルガム等飼料作物の植栽面積は、約23ヘクタールに達し、総面積約64ヘクタールを経営するに至っています。

## 推薦理由

株式会社鳥海高原デーリィファームが目標とする経営規模に応じた飼料を確保するとともに、牧場から生産される有機肥料の有効活用を図るため、水稻から生産される稲WCS（ホールクロップサイレージ）の生産拡大を進めてきました。

鳥海高原DF飼料生産組合は、畜産農家と耕種農家とが地域資源の有効活用を図り、耕畜連携型農業を確立し持続可能な農業を実現することを目的として、令和5年度に設立されました。

名波氏は、鳥海高原DF飼料生産組合の設立に主導的に関与して地元農業者との連携を強化し、有機肥料の圃場還元と飼料生産拡大を通して、耕畜連携型農業の確立と持続可能な農業の推進、農地の有効活用に大きく寄与してきました。

このような活動が評価され、「やまがた持続可能な農業推進コンクール2025」においては、株式会社鳥海高原デーリィファームが、最優秀賞（山形県知事賞）を受賞するに至っています。

この受賞においては、「鳥海高原DF飼料生産組合」を結成した稲WCSの生産の取り組みが高く評価されたほか、

- ・敷料の堆肥化及びエネルギー自給に向けた耕畜連携の取り組み
- ・水稻栽培で発生するもみ殻の敷料利用や堆肥の地域圃場への還元
- ・ふん尿を原料したバイオガス発電所の整備
- ・メタン発酵消化液の施肥利用（実証試験）
- ・酒田市の実施する水稻栽培における消化液の施用実証試験への参画
- ・搾乳業務におけるロータリー式自動搾乳ロボット（AMR）の導入

- ・生乳の地元JAを通じた出荷と地域のヨーグルト加工メーカーへの販売
- ・耕作放棄地の解消
- ・自給飼料の確保
- ・近隣の耕作放棄地を購入した飼料作物（デントコーン）の栽培

などのほか、地元出身者の積極採用を通じた農業者の育成などが高く評価されています。

酒田市が抱える農地の集積と集約、遊休農地の発生防止と解消、新規就農者の参入といった農業委員会の主要任務について、このような、名波氏が主導的に進めてきた地域農業関連団体や農業生産者とのパイプ、耕畜連携による農業生産機能の強化といった経験と卓越した知見、アイデアを持ってすれば、必ずや解決の道筋を示すことができるものと期待しており、鳥海高原DF飼料生産組合は、名波氏を農業委員に強く推薦いたします。

また、鳥海高原DF飼料生産組合の組合構成団体である、株式会社和農日向代表取締役阿曾千一氏、米米飯株式会社代表取締役阿部恒基氏、広野WCSの会代表佐藤実氏、有限会社ごんべの会黒田秀夫氏、株式会社鳥海高原デーリィファーム代表取締役延與雄一郎氏からも、農業委員の役割に期待がもてることから、名波氏を農業委員に強く推薦しています。

なお、ノベルズグループ全体としても、社員が農業委員に就任し、地域農業の課題解決に資する役職を担うことを積極的に支援することを社是としており、会社業務と両立することは十分可能であり、グループとしても農業委員への就任を積極的に推薦しているところです。